

ラ・ボエームあらすじ

パリの安アパートで暮らす詩人ロドルフォ、画家マルチェッロ、哲学者コッリーネ、音楽家シヨナールは、クリスマスイブの夜にカフェに繰り出すことにする。皆が部屋から出る中、書きかけの原稿を仕上げるために部屋に残ったロドルフォは、隣人のお針子ミミに出会い、二人は恋に落ちる。

カフェで仲間と合流したロドルフォはミミを紹介する。そこへマルチェッロの元恋人ムゼッタがパトロンアルチンドーロと現れる。ムゼッタはアルチンドーロを靴屋へ追いやり、マルチェッロの気を惹こうとする。互いの気持ちを再確認した二人は仲間たちに祝福されながら、よりを戻すことにする。皆がいなくなった後に戻ってきたアルチンドーロは自分につけられた高額の勘定に愕然とする。

数か月後、ロドルフォはミミに冷たく当たるようになっていた。そのことをマルチェッロがロドルフォに問うと、ミミは重い病気であり、貧しい自分との暮らしでは助からないため別れなければならないことを打ち明ける。ロドルフォの真意を知ったミミはさよならを告げ、二人は愛し合いながらも別れることになる。マルチェッロもムゼッタと衝突することが多くなり、喧嘩別れしていく。

さらに数か月後、春を迎えた彼らは……。

1830年代のパリを舞台に、貧しくも希望にあふれ、自由に生きる若きボヘミアンたちの青春と友情、そして美しくも儚い愛を描いた物語。



指揮
阪 哲朗



舞台構成
松本 重孝



ミミ
藤井 冴



ロドルフォ
宮里 直樹



ムゼッタ
横山 和美



マルチェッロ
市川 有一郎



シヨナール
田村 洋貴



コッリーネ
小野寺 光



ペノア/アルチンドーロ
志村 文彦



管弦楽
山形交響楽団

【久慈～八戸間バス】 申込期限：2月25日（金）※定員になり次第終了

□往路／11：40 八戸駅西口 → 12：10 八戸市庁前ロータリー → 13：20 アンバーホール

□復路／終演15分後に出発 □運行協力金／1名 1,000円（往復） □定員 22名（予定）

【託児所】 申込期限：2月25日（金）※定員になり次第終了

□料金／無料 □定員／8名 □対象／満1歳～小学2年生程度

※お子様の飲食物等をご持参ください

【新型コロナウイルス対策について】

- ・館内でのマスクの着用、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- ・できる限り会話をお控えいただきますようお願いいたします。
- ・歓声はご遠慮ください。
- ・ご来場前にホームページにて最新情報の確認をお願いいたします。

